

【注 意】

当記者発表資料の掲載画像の無断利用や複製はご遠慮ください。

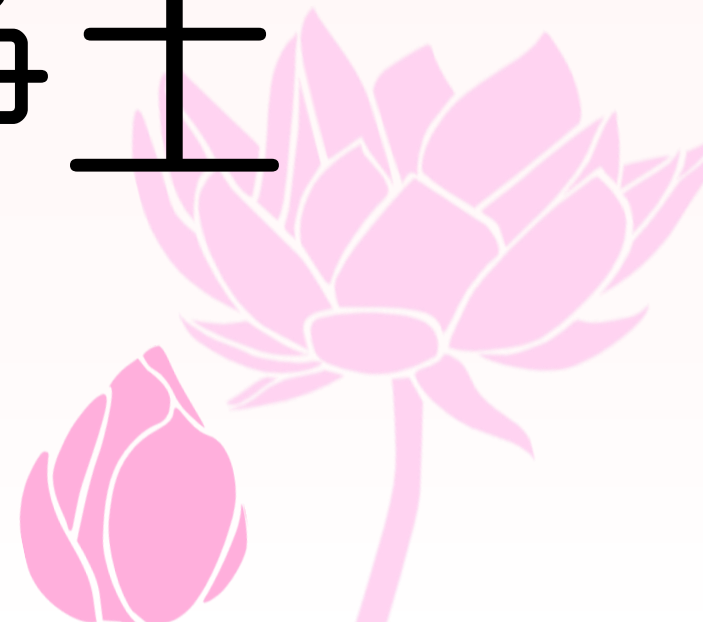
（作品画像の利用を希望される場合は、「広報用画像利用申請書」のご提出をお願いします。）

九州国立博物館開館20周年記念／
放送100年／
読売新聞創刊150周年

特別展

法然と極楽浄土

in 九州国立博物館



会期

令和7年（2025）10月7日(火)～11月30日(日)

前期：10/7(火)～11/3(月・祝)

後期：11/5(水)～11/30(日)

中学生以下は
観覧料無料！

本展の特徴

- ①浄土宗850年の歴史を通覧する史上初の展覧会です。
- ②九博では初めてとなる、浄土宗の特別展です。
- ③国宝6点、重要文化財45点を含む113件を展示！
浄土教美術の優品が一堂に会します。

展示の構成

第1章 法然とその時代

第2章 阿弥陀仏の世界

第3章 法然の弟子たちと法脈

第4章 江戸時代の浄土宗



通期

重要文化財

法然上人坐像

鎌倉時代 14世紀

奈良・當麻寺奥院



通期

法然上人像（隆信御影）

鎌倉時代 14世紀

京都・知恩院



善導（613～681）

中国・唐の阿弥陀仏信仰者。法然は、善導による観無量寿経の注釈書を読み、「専修念仏」の教えに至る。

通期

善導大師立像

鎌倉時代 13世紀

福岡・善導寺（福岡市）





国宝
法然上人絵伝 卷第六
鎌倉時代 14世紀 後期
京都・知恩院

承安5年（1175）、浄土宗を開く。
→2024年は開宗850年目にあたる。

選擇本願念佛集
南無阿彌陀佛
往生之業
念佛為先
道綽禪師立聖道淨土二門而

前期

重要文化財

選擇本願念佛集

(廬山寺本)

鎌倉時代 12~13世紀

京都・廬山寺

選擇本願念佛集
南無阿彌陀佛
往生之業
念佛為先
道綽禪師立聖道淨土二門而捨聖道心歸淨土之文
安樂集上云問曰一切衆生皆有佛性遠劫以來應
值多少佛何因至今仍自輪迴生死不出火宅答曰
依大乘聖教良由不得二種勝法以排生死是以
難出輪迴何者有二一謂聖道二謂法士淨土其

普告予予門人念傳二人音

一丁傳心未定一向又蒙教誨

心觀諸解保之善事

右至三教道者學士所經也非是之
之徒其心非清其法之徒其心非清其
而酒歌落坐夜間之至到

一丁傳心以無身對有身人遇到門事
好修持論事

古論義者是有者有已其非是人之
天誦論之廣指煩瑣起陷者逐離之有
由自心現於一向人修行人

一丁傳心對到解到門人其意偏執
往富貴者盡本意強運堂之言

古於通之習品若動自行義不遵修行要
要次之別解到門者起於心者生修持
罪惡家之行其此則或加之善導和而可
之三和師之教其同之理也

一丁傳心於金保門事其行果勸導金保
通守清淨者名難行人常修持存心之說
勿然逆惡事

右我足修德大化已修門難追同善之是若
導和向學日不見其人此行之趣追若徒
制淨業之願不順之者其共其更之通教到
其祖師之真跡音云據者云

一丁傳心未定是昨夜人離我昨昨既還
教義金保誦讀教誨有違犯惡人事

右至廣大天此明玉龍保送我天用十之種
無道心丁也

一丁傳心以廣使身修好福導本心正法既獲
邪法教化無台通俗事

右每解所是既細之制或之是圖顯取顯
已才以修教言教能令名利即現即此所由
由之是教教世同人教法之明性重是草味
國賊

一丁傳心自就非供教邪法為正法修持此
執事

右各雖一人既所修言平一身竟無行能
教之現修行之無者不若之甚也過者已

以前七箇修德既一新之修教之亦不若
顯不自起年之同雖金保誦讀教誨教
不通人心之望也雖因言今三十箇年之

言涉日月品之通其此十箇年之通其不若
輩時之到至非其共修德淨室之行所又通
法行之如如修持此十箇年之通其不若

言多其難法通其此十箇年之通其不若
有制法華者其此十箇年之通其不若
草庵自今之通其此十箇年之通其不若

伴其不與者是同言人之故過不作者不與同
法依所通自當自得之理此在已心之是故今
日傳言言行人第一言告今修德有風同能
不知誰人共修持此無教通有序則可教
先隨力及所回聲過之討之仍保其趣未同學
等之狀也

元久元年二月七日山門源堂

信空 威嚴 萬西 發定 源有

元久元年二月七日山門源堂

信空

威嚴

萬西

發定

源有

行西

平達

見佛

導西

導西

寶慶

寶慶

寶慶

寶慶

寶慶

寶慶

寶慶

寶慶

寶慶

寶慶

寶慶

寶慶

寶慶

寶慶

寶慶

寶慶

寶慶

寶慶

寶慶

寶慶

寶慶

寶慶

寶慶

寶慶

寶慶

寶慶

寶慶

寶慶

寶慶

寶慶

寶慶

寶慶

寶慶

寶慶

寶慶

寶慶

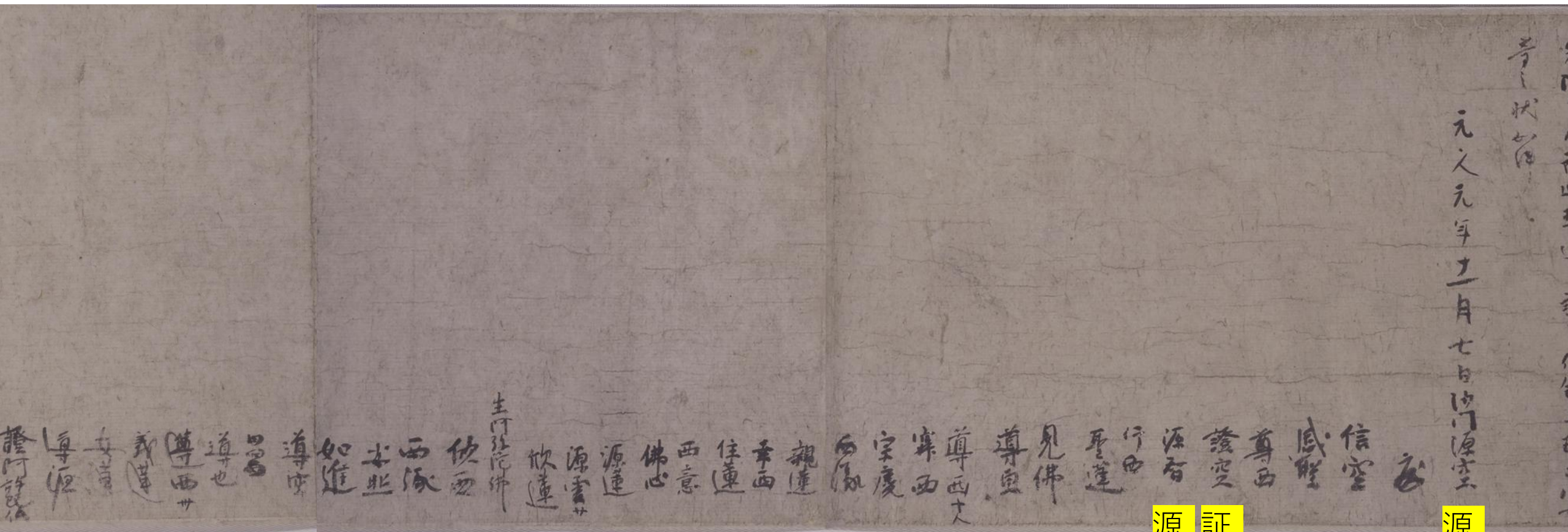
寶慶

寶慶

後期

重要文化財
七箇条制誠

鎌倉時代 元久元年（1204） 京都・二尊院



元久元年十二月七日二尊院源空

源空 (法然)

源智 証空

後期 重要文化財
七箇条制誠

鎌倉時代 元久元年 (1204) 京都・二尊院

法然上人の生涯（1133～1212）

長承2年（1133） 1歳 美作国（岡山県）に生まれる。

保延7年（1141） 9歳 父・漆間時国、夜討ちにより死去。



建仁4年（1204） 72歳 『七箇条制誡』を作成し、門弟を諫める。

建暦2年（1212） 80歳 1月25日、没する。大谷に葬られる。

展示の構成

第1章 法然とその時代

第2章 阿弥陀仏の世界

第3章 法然の弟子たちと法脈

第4章 江戸時代の浄土宗



弟子源智の発願による、
法然一周忌の造像。
4万6千人以上の結縁者の
名前が納入された
記念碑的作品。

前期

重要文化財

阿弥陀如来立像

鎌倉時代 建暦2年（1212）

浄土宗



新約教... 源賴朝等の結縁交名

源賴朝等の結縁交名

源智... 源智による造立願文

源智による造立願文

前期 像内納入品



桜が咲き誇るなか、
阿弥陀が来迎する様子を
スピード感を持って描いた
来迎図の最高峰

前期

国宝

阿弥陀二十五菩薩来迎図
（早来迎）

鎌倉時代 14世紀

京都・知恩院







往生者を
あたたかく見守る阿弥陀さま

後期

国宝

山越阿弥陀図

鎌倉時代 13世紀

京都・永観堂禅林寺





死角なし！

360度どこから見ても
優美な見返り阿彌陀

通期

阿彌陀如来立像(見返り阿彌陀)

鎌倉時代 13世紀

山形・善光寺







人々を救うため
途方もなく長い間（五劫）、
悩まれた姿

通期

重要文化財

五劫思惟阿弥陀如来坐像

鎌倉時代 12～13世紀

奈良・五劫院



展示の構成

第1章 法然とその時代

第2章 阿弥陀仏の世界

第3章 法然の弟子たちと法脈

第4章 江戸時代の浄土宗



証空（1177～1247）

法然の高弟。

浄土宗西山派の祖。

後期

証空上人思惟像

室町時代 15～16世紀

京都・永観堂禅林寺



奇跡の国宝！

蓮糸で織られたという伝説
を持つ究極の阿弥陀浄土図

11/11～11/30
(3週間限定)

国宝

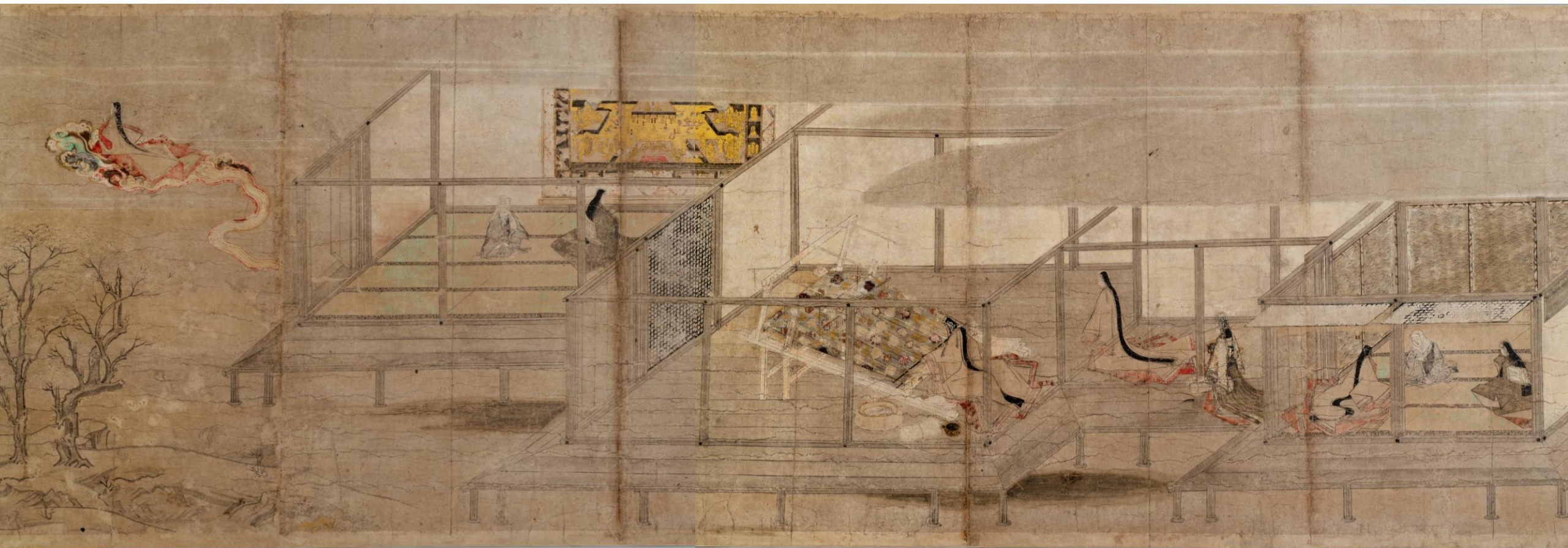
綴織當麻曼陀羅

中国・唐または奈良時代

8世紀

奈良・當麻寺





後期

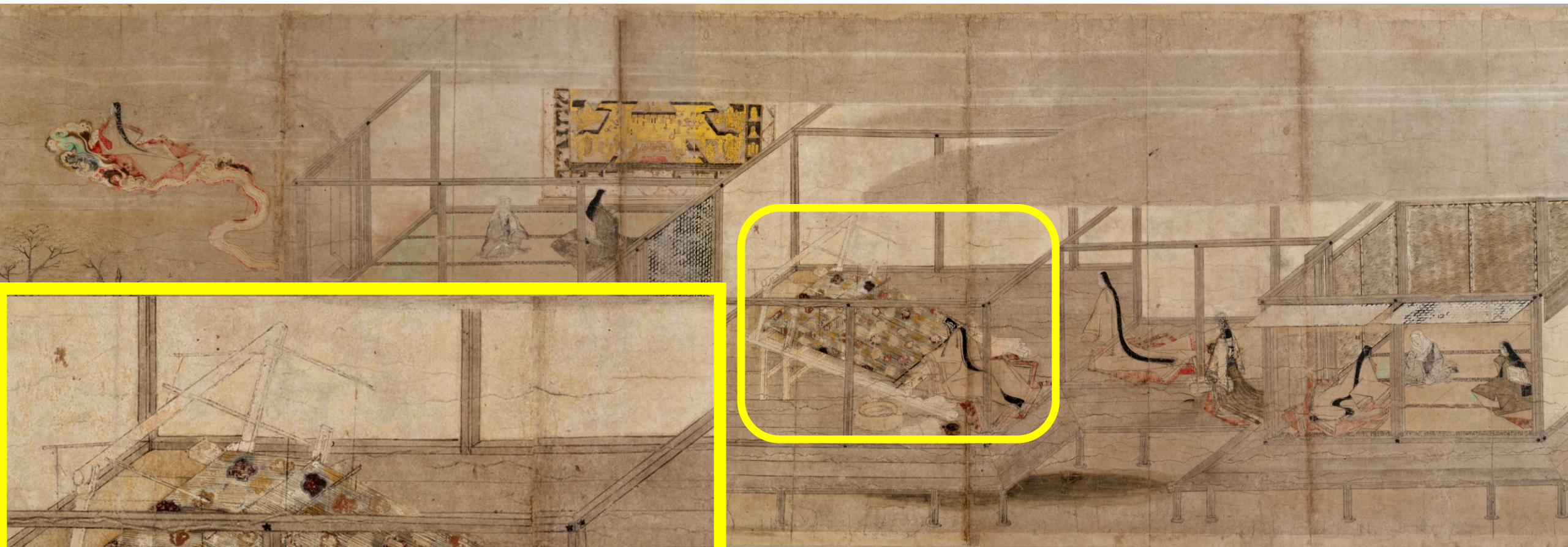
国宝

当麻曼荼羅縁起絵巻 卷下

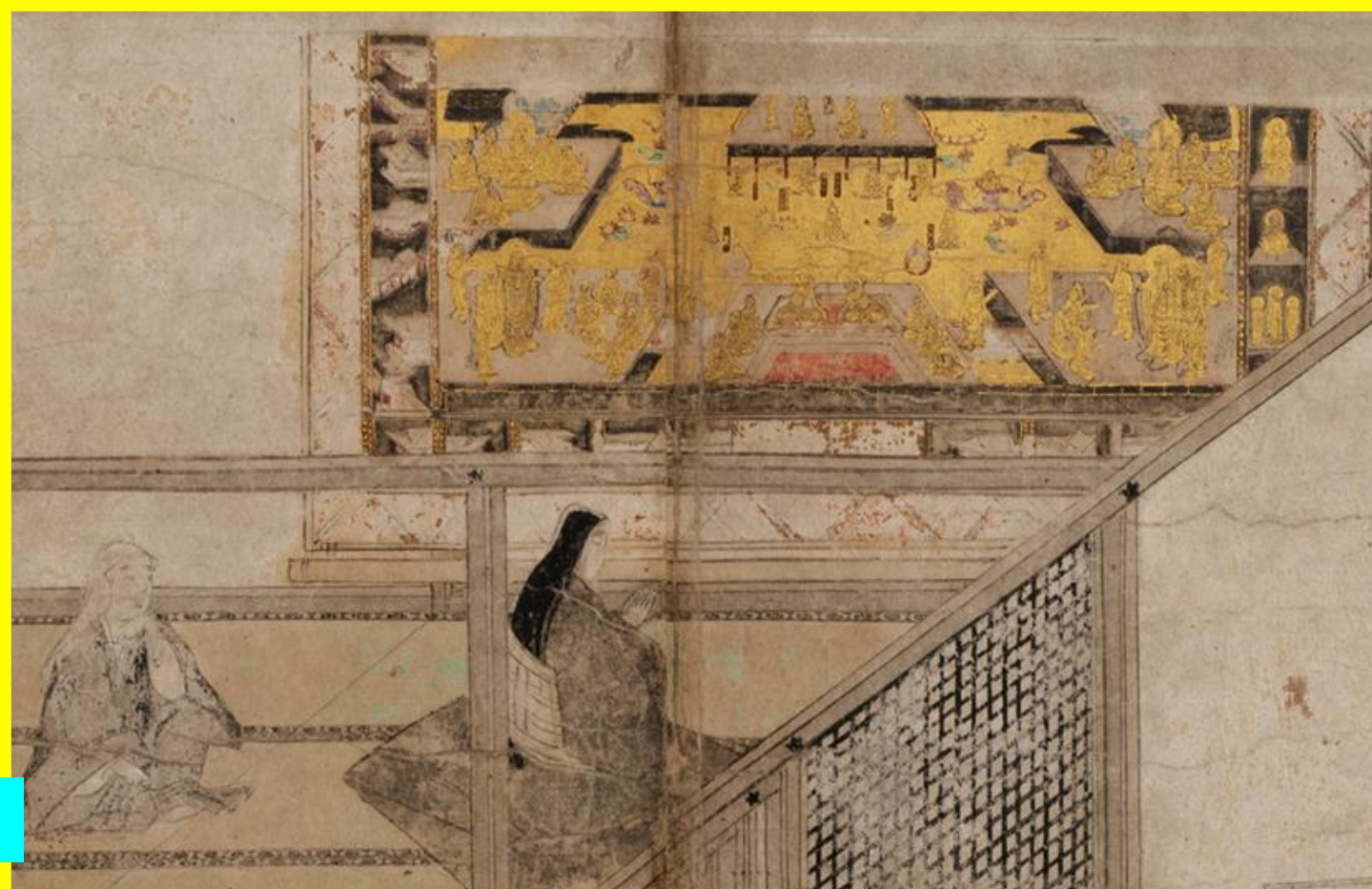
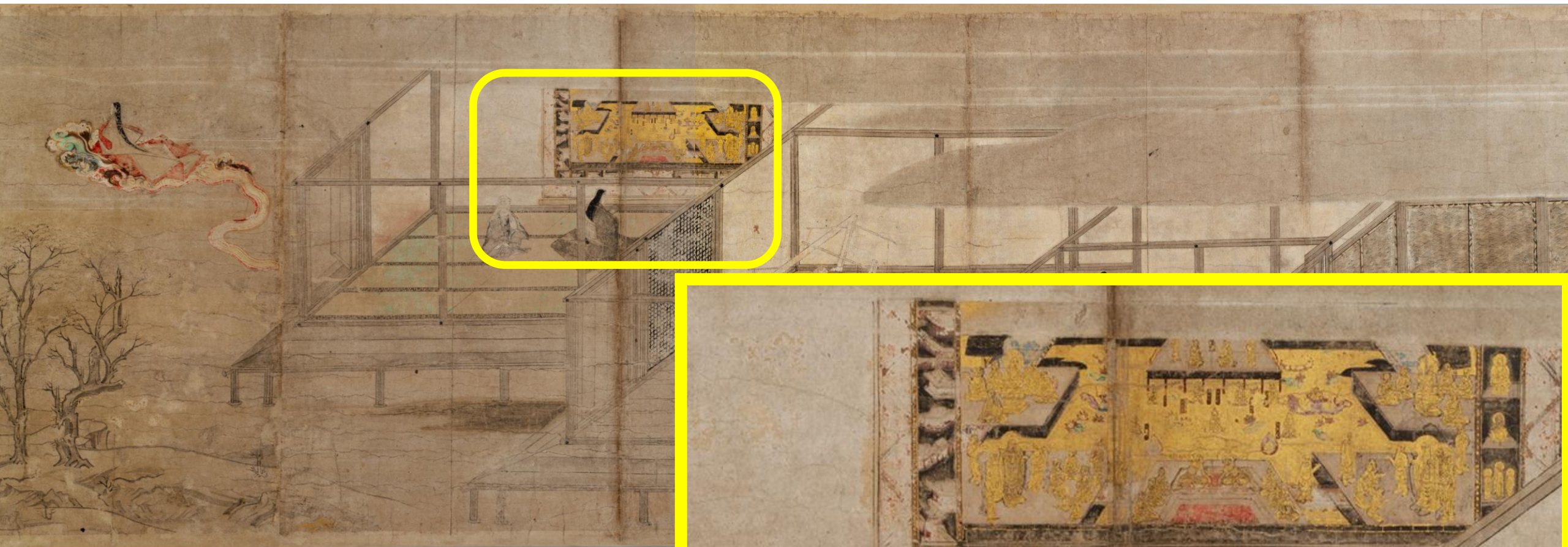
鎌倉時代 13世紀

神奈川・光明寺

綴織當麻曼陀羅に
まつわる物語を描く



化女（観音の化身）



化尼（阿弥陀の化身）



10/7~11/9
(5週間)

重要文化財
當麻曼陀羅図（貞享本）

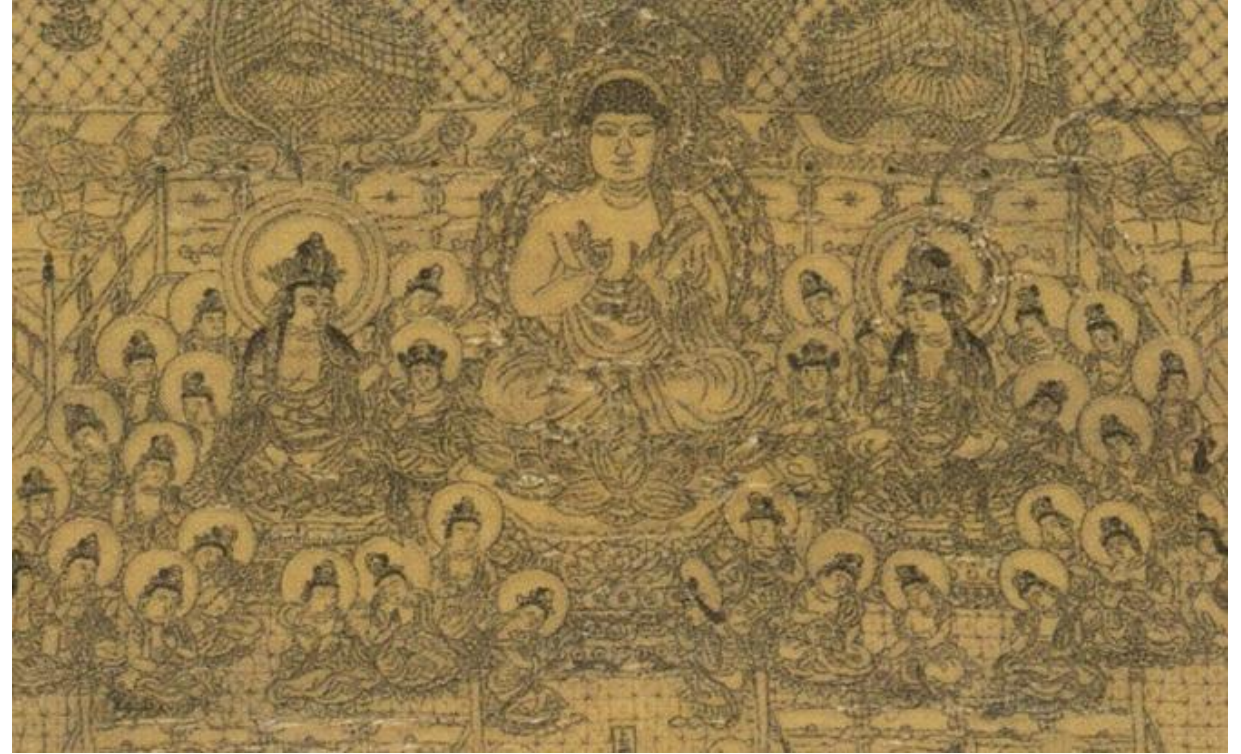
青木良慶・宗慶筆

江戸時代

貞享3年（1686）

奈良・當麻寺

8万人以上もの毛髪を
縫い込んだ当麻曼荼羅



髪繡当麻曼荼羅

空念作

江戸時代 17世紀

大分・極楽寺

通期



聖光（1162～1238）

筑前国出身。

浄土宗第二祖にして、
鎮西派の祖。

通期

重要文化財

聖光上人坐像

鎌倉時代 13世紀

善導寺（福岡県久留米市）





誕生の地に建つ
吉祥寺
(北九州市)

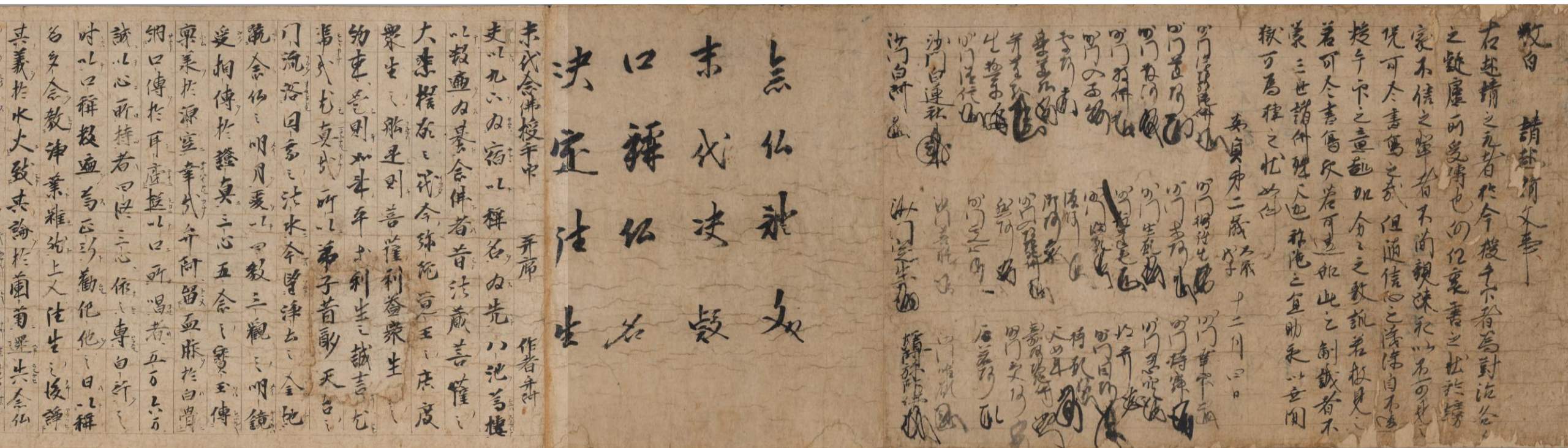


往復80キロ、
千日通いつづけた
英彦山
(添田町)





念仏興隆の拠点とした
善導寺（久留米市）



後期

末代念仏授手印（生極楽本）

鎌倉時代 安貞2年（1228）

福岡・善導寺（久留米市）

展示の構成

第1章 法然とその時代

第2章 阿弥陀仏の世界

第3章 法然の弟子たちと法脈

第4章 江戸時代の浄土宗



通期

重要文化財
徳川家康坐像

江戸時代 17世紀 京都・知恩院

宋版一切經 5342帖



元版一切經 5228帖



高麗版一切經 1357冊



住佛菩提心 菩提心自住 亦令他獲得
佛子住學戒 一心如是持 佛戒體清淨
不見有纖毫 恒作如是行 彼福無有量
無始為有情 行行而不別 如是為有情
化令一切覺 當知善知識 如命不可捨
菩薩戒最上 大乘法亦亦 解脫依師學
若能生吉祥 佛說智經 讀之見戒法
若人心護戒 所行悉已見 若身若心位
當微細觀察 口誦身不行 當得何所喻
譬如重病入 空談於藥力 虛空藏經中
說謨羅波底 如見集戒定 廣如經所說
聖龍樹菩薩 一心之所集 隨所住之處
勤恒伸供養
善提行經卷第一
蚊蚋下而攘攘可及 疥癩疥癩曰疥 疥癩疥癩曰疥 疥癩疥癩曰疥
崇勸我王承從 志誠書寫 善提行經
此第一卷 所獲妙利 上報四恩 下資三有
願與法界 一切合識 速證菩提 如諸佛等
時大宋號 靖康元年 七月望日 謹立斯誌

靈隱景德禪寺住持沙門淨休同勸緣
徑山興聖萬壽禪寺住持沙門妙高同勸緣
上天竺靈感觀音教寺住持沙門思恭同勸緣
明慶大興國寺前住持佛慧大師聞思勸緣
江淮諸路釋教都總統所攝控額 勸緣
江淮諸路釋教都總統所主事白 勸緣
江淮諸路釋教都總統所經歷郭 勸緣
宣授江淮諸路釋教都總攝扶宗弘教大師
加瓦八勸緣
宣授江淮諸路釋教都總攝扶宗弘教大師
行吉祥都勸緣
宣授江淮諸路釋教都總統永福大師
鍾真加都勸緣
宣授白雲宗僧錄南山大普寧寺住
持傳三東教十一世孫沙門如志謹
識昔至元二十七年庚寅十月圓日
頓首拜書

惟佛教之流于震旦其來已久
其說之載于文又莫若藏經之
專幸其刊板具在於海印寺近
歲士民之好善者印成全部然
間被國家賜于日本存者無幾
予欲印施若干部分置于名山
福地上焉
臣尹師路議政府左贊成臣申
叔舟判中樞院事臣李仁孫臣
權學史曹判書臣韓明澹承政
院都承旨臣曹錫文等
若曰余以在德承
天地祖宗之靈位于臣民之上幸與
卿等而共際會亦非小種善根

所蔵はすべて増上寺



増上寺経蔵



増上寺経蔵 内観

増上寺が所蔵する
三種の仏教聖典叢書
(増上寺三大蔵)

今年4月、ユネスコ「世界の記憶」
国際登録 決定！



前期

第69幅
禽獣



前期

第57幅
神通

全100幅！
破格の羅漢図
(12幅を展示)

五百羅漢図

狩野一信筆

江戸時代 19世紀

東京・増上寺



後期

第60幅
神通



後期

第17幅
剃度

全100幅！
破格の羅漢図
(12幅を展示)

五百羅漢図

狩野一信筆

江戸時代 19世紀

東京・増上寺



写真撮影OK



仏涅槃群像 **通期**

江戸時代 17世紀 香川・法然寺

圧巻の立体涅槃！





関連イベント※会場はすべて九博ミュージアムホール

■仏像の世界へようこそ！

はなさんと学芸員がナビゲートする極楽浄土ツアー

10月12日（日）午後1時30分～午後3時



関連イベント ※会場はすべて九博ミュージアムホール

■なむなむ大学

特別授業

10月13日（月・祝）午後1時30分～3時30分

講師：日下部匡信台下（浄土宗大本山善導寺 第68世法主）

下田正弘先生（武蔵野大学教授・東京大学名誉教授）

柴田泰山先生（浄土宗総合研究所研究員・弘善寺住職）

入門授業

11月16日（日）午後1時30分～3時

講師：森實久美子、大澤信、伊藤信二（九博研究員）



関連イベント ※会場はすべて九博ミュージアムホール

■極楽デー

10月25日（土）

午前11時～12時

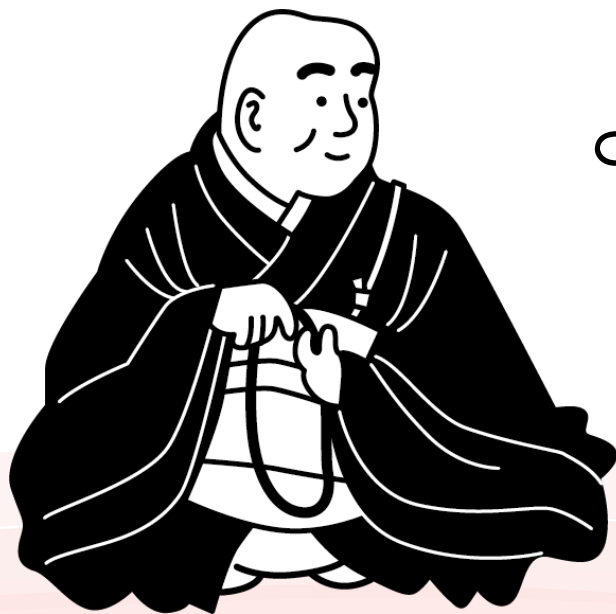
ライブシアター

「法然上人・聖光上人一代記」

午後2時30分～3時30分

浄土宗福岡雅楽会 鎮西楽所演奏会





よろしくお願いいたします。